

◎5～6月のスケジュール
*5/26(金): 体育祭
*6/1(木): 大学院第1期推薦受付開始
*6/16(金): 合格発表

平成7年(1995年)5月1日発行

《新任教授インタビュー》 神馬 敬教授

群を抜く実験実習施設の活用を!!



東京工業大学や名古屋大学教授として、また(社)日本塑性加工学会会長として多大な功績を残されている神馬敬先生が、この度、本学機械工学科教授に就任された。そこでこの機会に、学問的信条や抱負の一端を伺った。(聞き手 企画室・櫻井)

——この四月から本学で教鞭をとられるようになったわけですが、先生の学問観についてお聞かせ下さい。
神馬 私は長く塑性加工分野に関わってきたわけですが、先ず私を教える導いて下さいました二人の恩師について、ふれておきたい。

——昭和五十一年に教授に就任。渡邊英世先生の研究室を引き継いだのですが、ここで「工学の研究は技術開発と結び付かねばならぬ」ことを実感しました。渡邊先生は冷間ロール成形の研究に長年取り組まれ、現職の間に紫綬褒章を受賞されるなどの業績を挙げたが、助教のままで、定年退官されました。理由は推察するところ、技術開発に力を入れられなかったため、論文を書く時間が不足していたのが実情で、現職中に冷間ロール成形研究所を起こされるなど、お忙しい先生でした。

研究室を引き継いでからは渡邊先生と度々話し合ったのですが、先生はそのとき「技術開発に成功したら黙っている。失敗したら論文に書け」と言われた。

神馬 ええ。まあ、それは一部の先生方に対するアイロニー(皮肉)なのですが、平たく言えば、論文ばかり書いていても、実際に世の役に立たなければ意味がない、と後任の私にも諭したのだと思う。

いづれにしろ、なぜかその言葉が印象深かったもので、私は渡邊先生の助手をして、いた小奈君と相談して、これからは「技能」というものを科学論文の形にすることに思い立った。そして、私自身、従前の力学中心の取り組みの姿勢を技術開発へ

【推薦B方式】
成績概評B以上を前提条件とし、特長・特技をもった生徒諸君を、広く推薦していただきます。

出願期間	平成7年8月21日(月)～9月30日(土)
第一面接	平成7年9月12日(火) [大 学] 9月13日(水) [大学・仙台] 9月17日(日) [長 岡] 9月18日(月) [名古屋・岡山] 9月19日(火) [松本・静岡・大阪] 10月8日(日) [大 学]
合格発表日	平成7年10月20日(金)

※面接において、地方会場(仙台・長岡・松本・静岡・名古屋・大阪・岡山)および9月12日・13日の大会会場を希望する場合は、9月4日(火)までに

第二面接	平成7年11月27日(月)～12月4日(月)
第二面接	平成7年12月9日(土) [大 学]
合格発表日	平成7年12月15日(金)

座 標
生涯学習と
リフレクシブ教育



木村 寛治教授
日本工業大学
工業教育研究所

「知能は生れつき決っている能力か、それとも適切な経験によって変わっていく能力か」と聞かれたら、「経験によって変わる」と答える人が今日では多い。国立教育研究所の調査によると、小学生を持つ親の八十%が「知能は生れたときには決っている」と答えている。

これらの議論は「生涯学習社会」では、それほど重要な視点ではない。留意すべきは、「知的な意欲」の喚起と持続する能力ではないだろうか。

そのこともあってか、最近「恐竜の脳で生きる」、「脳を育てる脳を守る」、「頭が突然鋭くなる右脳刺激法」、「知力の発達」など、記憶に偏っていた脳を全ての脳細胞を活用して生き生きと生を送ろうという本が、目に付くようになった。

確かに、すべての動物も幼時には生きるための学習をして、盛んに遊び、じゃれ、好奇心をふんだんに発

揮している。しかし、よく観察してみると動物は成長するにつれ、逞しい生命力を保ちながらも、じやれたり、遊んだりしなくなる。一方、人間は発達した脳を持っただけで、大人になっても遊んだり、学んだり、一生好奇心は衰えない。幼児の多様な好奇心は大人になっても衰えない。

「談話」のまとめ、その中に「発見と創造の喜び」を体験できる教育、「できる学生」とになる。生涯学習は個人のためだけではない。不確実性の度を強める社会にあって、個人として、国民として、人類として生き抜くために必要であることも忘れることはできない。

日本においては、平成四年七月に「生涯学習審議会」の答申が出され、生涯学習社会を築いていくための考え方として、「今後人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができる」という成果が社会において適切に評価されるような生涯学習社会を築いていくことを目指すべきである」としている。文部省は当面の重点課題の一つとして、知識・技術の「リフレクシブ教育」の推進を図っている。高等教育機関では通信衛星を利用するなどして様々な試行が着実に進んでいる。

アメリカの高等教育機関に在籍する三十才以上の学生が二十九%(四〇〇万人)に増えたと聞いている。お互いに生涯学習社会に向って準備をしたいものである。

平成8年度 推薦入学について



日本工業大学 教務課入試係
TEL 0480-33-7507
FAX 0480-33-7527

【推薦A方式】

過去の入学実績(入学後の成績を重視)を勘案して推薦依頼生徒数を決定し、優秀な生徒諸君をご推薦いただく指定校制(学科指定)です。

出願期間	平成7年10月2日(月)～10月7日(土)
合格発表日	平成7年10月20日(金)

出願期間	平成7年11月27日(月)～12月4日(月)
第二面接	平成7年12月9日(土) [大 学]
合格発表日	平成7年12月15日(金)

世界デパート探見

セーヌ河とブローニュの森の南端の間にある地下鉄の駅ミューエットを出て十分程歩いた所に、ロットシルト(ロスタイルド)家のアンリという銀行家で劇作家が建てた華麗な邸宅がある。今は経済協力開発機構(OECD)の本部になっていて、有事には各国の閣僚が鳩首協議する場所である。一九七三年の第四次中東戦争から生じた石油危機の混乱に対処する方策がここで協議され、石油消費国間の協力を常時行うための組織として、国際エネルギー機関(IEA)が内部に設置された。

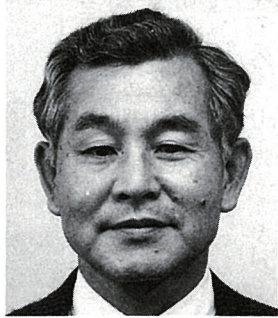
OECDの裏手に沿ってピラートル・ド・ロジェ遊歩道がある。この辺りは、千七百八三年十一月に熱気球を使ってロジェ自身が世界で初めて空中飛行を実行した所と記されている。モンゴルフイエ兄弟が紙袋の熱気球を飛ばしてから僅か五ヶ月後のことである。人間が空を飛べることを知ったベンジャミン・フランクリンはすぐに、気球が戦争に使われる懸念を書きとめているが、飛行機ができるまでは空襲の惨禍というものはなかった。

しかし可能性の追求という人間の精神は奇妙な形で表れるもので、一八〇八年のこととされるおかしなエピソードが伝わっている。ある女優をめぐって二人の男の間にもつれが生じた。当時のフランスではこのような問題は決闘のほかに解決する方法がないというこ

模索する。こうして写真の枠の外に表現の世界を見いだすことに成功したのが印象派である。多分そのためであろう、印象派の絵を見ると迷いがひらけた時のような明るく高揚した気分になる。

翌年再び同じ会議があり今度はぜひとも「印象一日の出」を見ようと企てたが、その直前に盗まれ行方知れずになってしまった。その後幾度か同じ会議に出席して同じ途を通り抜けるたびに、自分の物が盗難に遭ったような口惜しい気分が襲われたものである。

サステイナビリティという時代精神



伊原 征治郎教授 (システム工学科)

後に鑑賞しようと思ったがついに果たせなかった。美術史家によれば、印象派の誕生は写真技術の出現に原因があるという。暗箱の一点にあけたピンホールの対面に紙を置いて風景や人物の像を投影するカメラ・オブスクラと呼ばれた道具は、ルネッサンスの頃から写真に使われていた。十九世紀後半には投影像を写し取る感光乳剤が発明されて写真機が登場した。画家達は絵画の写実の側面が自分の専門領域ではなくなつたことに大変な衝撃を受け、絵画の存在意義を求めて新しい表現の可能性を必死に

出席した会議は、IEAが主宰するエネルギー技術システムを分析する国際協力研究であった。この協力は現在も継続中と聞くと、利用可能なエネルギー資源と技術を組み合わせてエネルギー問題に関わる対策を見いだそうというもので、十数ヶ国が共通の手法で作ったコンピュータモデルを使っている。一九七四年開始当初は石油危機に対処する意識が前面に出て、システム分析はもっぱら石油に代わるエネルギーの経済的な利用技術を探る視点から行われた。その後十年以上続けるうち

教員人事

(4月1日付)

情報短期大学教授

【新任】

年度替わり及び情報工学科のスタートに当たり、多数の教員の異動があった。紹介の新任・任命・委嘱などの他にも配置換えの人事等もあったが、幅の関係上、割愛した。

◆神馬 敬教授 (情報工学科) 昭和七年三月生まれ。同三十五年三月、東京工業大学大学院理工学研究科博士課程機械工学専攻修了。工学博士(東京工業大学)。同五十二年東京工業大学教授に就任。平成三年、名古屋大学工学部教授に就任。東京工業大学名誉教授。(※第一面記事参照)

◆渡辺 康夫教授 (電気電子工学科) 昭和十四年九月生まれ。同四十八年、米国テネシー州立大学大学院博士課程電気工学専攻修了。Ph.D(米国テネシー州立大学)。前防衛庁技術研究本部第二研究所主任研究官。

◆白石 一郎助教授 (建築学科) 昭和二十八年三月生まれ。同五十二年三月、明治大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻修了。工学博士(明治大学)。前熊谷組技術研究所力学系研究開発部専任課長。

◆岸 敏二教授 (電気電子工学科) 昭和五年三月生まれ。同十七年、慶応義塾大学工学部電気工学科卒。工学博士(慶応義塾大学)。前芝浦工業大学(現横浜国立大学)客員教授。

◆椋田 實助教授 (情報工学科) 昭和二十三年二月生まれ。同四十五年三月、工学院大学工学部電子工学科卒。前文理科

◆岡本 京子助手 (機械工学科) 昭和二十三年二月生まれ。同四十五年三月、工学院大学工学部電子工学科卒。前文理科

◆柳沢 章教授 (システム工学科) 昭和二十三年二月生まれ。同四十五年三月、工学院大学工学部電子工学科卒。前文理科

◆三宅正二郎教授 (情報工学科) 昭和二十三年二月生まれ。同四十五年三月、工学院大学工学部電子工学科卒。前文理科

◆山口 幸恵講師 (共通系) 昭和三十七年七月生まれ。平成二年三月、明治学院大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了。前本学非常勤講師。

◆松田 洋助手 (情報技術センター) 昭和四十二年一月生まれ。平成七年三月、北陸先端科学技術大学院情報科学研究科情報システム学専攻修士課程修了。

◆ナザール・サン・ハビブ講師 (共通系) 一九六五年英国生まれ。一九八四年、サセックス大学で数学・統計学の学位取得後、九三年に成人継続教育学を修める。同年ウエールズ大学にてTEFL(外国語としての英語教育)免許取得。特技イタリア語に堪能。

◆上野 貴博助手 (電気実験研究センター) 昭和四十五年三月生まれ。平成六年三月、本学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。前作新学院高等部情報科学部電気科教師。

◆仲摩 文雄教育技術員 (電気実験研究センター) 昭和十二年十月生まれ。同四十二年三月、日本大学理工学部電気工学科卒。前(株)電業勤務。

◆藤本 隆之助手 (超高压放電研究センター) 昭和三十九年六月生まれ。平成元年三月、佐賀大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了。前(株)工業高等専門学校電気工学科助手。

◆片山 茂助教授 (情報工学科) 教授に昇任

◆飯塚 完司 (電気実験研究センター) 教育技術員に昇任

◆枝根 茂講師 (共通系) に異動

非常勤講師

【共通系】松村雅生憲法
【機械工学科】白置蓮山
【電気電子工学科】片柳弘
【建築学科】若林祥文
【システム工学科】西山明彦
【土木工学】宇野元雄
【英語】増田修代(英語)
【英語】竹岡千代(英語)
【英語】高橋保夫(英語)
【英語】山崎敦子(英語)
【英語】日比端洋
【英語】三浦玲子(英語)

【機械工学科】長井兼担
【情報工学科】紙屋英男
【情報工学科】上野正英
【留学生別科】井江ミサ子

◆森宮 脩教授 (超高压放電研究センター) 長井兼担

◆神馬 敬教授 (機械工作センター) 長井兼担

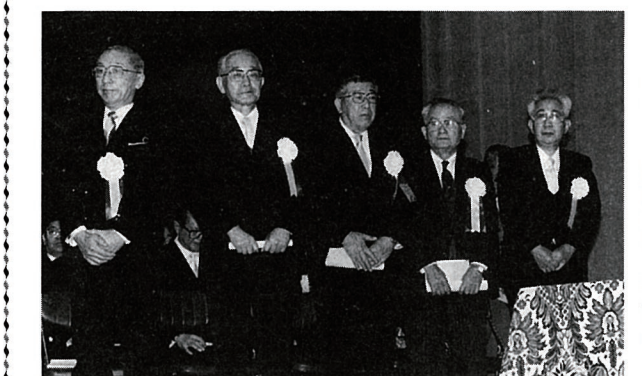
◆片山 茂助教授 (情報工学科) 教授に昇任

◆飯塚 完司 (電気実験研究センター) 教育技術員に昇任

◆枝根 茂講師 (共通系) に異動

◆柳沢 章教授 (システム工学科) 教授に昇任

◆三宅正二郎教授 (情報工学科) 教授に昇任



平成6年度学位授与式の壇上で功をねぎらわれる、左より大木吉甫、原田達哉、高橋久雄、橋爪浅治、長田重慶の5教授。

学科主任

機械工学科



柳沢 章教授

システム工学科



三宅正二郎教授

情報工学科



松田郁夫教授

プラハの思い出

いま《チェコ工大》生達は…

工業技術王国再建のまなざし

岸 敬二教授 (電気電子工学科)



写真右に担当講座の学生達と(中央)。左に何かと面倒をみてくれた工科大学の事務職員との記念写真

私が初めてチェコスロバキア(当時)の首都プラハを訪れたのは、一九七七年で、当時在籍した東京総合研究所における半導体に関する研究をもち、それが縁となって Czech Technical University (CTU) にて講座をもつことになり、一九九三年九月から本年一月までプラハに滞在して「Management of Japanese Manufacturing Companies」のテーマで講義をした。



チェコスロバキアの歴史をみると、十世紀頃から他民族、他国による支配が続く。特に、第一次、第二次大戦および冷戦中の幾多の苦難の時代を経て、一九八九年一月、スロバキアと円満に分離独立してここより

チェコスロバキアの歴史をみると、十世紀頃から他民族、他国による支配が続く。特に、第一次、第二次大戦および冷戦中の幾多の苦難の時代を経て、一九八九年一月、スロバキアと円満に分離独立してここより

年毎に観光客が増え、これが国家の収入源の一つになっている。私が居たCTUの歴史は古く、そのルーツは一七〇七年の創立と言われ、チェコでは最も高いレベルの工学系の大学である。学生は高校の推薦による無試験入学で、皆真面目で優秀、よく勉強している。学費は無料で、大学の設備は一応整っている。大学の経費はすべて国から支給されているが、運営は大学の自主性に任されている。以前では、大学の運営は国によってコントロールされていた。

大学教育は、基礎過程二年間、高等過程三年間、博士過程三年以上となっている。必修科目と選択科目があり、その選択の自由度は高いように思う。例えば、電気科の学生が建築科の科目を選択し、単位を取得してもよい。学生の成績は、同一科目につき、筆記試験と担当教授の面接による口頭試験の結果で決まる。私の知る限り、チェコの「産官学」の連携は極めて弱く、大学と産業界との交流は殆どないようだ。学会、協会の名前も存在していても機能しているとは思えない。私の講座に在籍していた学生達に、自分の将来計画について聞いてみると、卒業後、直ちに国内製造業に就職せず、まず外国に行って語学とビジネスの勉強をし、帰国後、自分で小規模なビジネスを始め、オーナーになることを夢見ているようだった。

現在のチェコは、人口一、〇四〇万人、GNPの伸び率はプラスが続く(但し一九九二年の一人当たりGNPは日本の四分の一、インフレ率は年一〇%程度で失業率は低く、政治、経済、治安は旧東欧諸国の中で安定している。私からみると、EU加盟後、工業立国で優位性を保つため、核となる産業の選択と育成、産と学の連携強化、学生の卒業後の改善が必要であるように思う。

多くのチェコ人は、日本に対して親近感をもっており、私は今までの経緯からチェコに対して親しみをもっている。本学も、例えばハイレベルのCTUと交換講座、教授交換などで相互交流をはかれば、東欧の歴史、文化、技術の変遷と動向、メンタリティに触れることができ、有益でないかと思う。

阿部優美君は、テレビやポップス・ミュージックが好きで、どこにでも見受けられる、ごく普通の女子学生だ。が、彼女が並の学生と大きく異なる点の一つだけある。それは、とく目立ちがちな現代の若者たちと異なり、自分のことより他者を立て、いわゆる「裏方役」を自己に課していることだ。だから、サークル活動も、大学祭を陰で支える大学祭実行委員会に、ごく自然に入った。

その好きな詩の一節に、同県郡山の詩人・佐藤浩氏が作った「フキノトウは緑の噴水だ 春の噴水だ」という表現があるが、阿部君の明るい性格も、そんな季節感を十全に己れのものにした感がある。さて、そんな彼女が本学の建築学科に入学したのは、西会津を流れる只見川中流に位置する三島町。高校は、

生家が建築業を営んでおり、設計も十分にマスターしていただいた方がいいのでは、と答えるほかなかった。しかし設計図が苦手というのも、彼女は、別に手先が不器用というのではない。それどころか、阿部君が筆を振った学内に掲示する学生自治会主催のイベントの立て看板を見ると、どうしてなかなかの腕前である。したがって、まだ三年間もある設計の実習時間を使って取り組めば、十分に修得可能と見た。

話は戻るが、いま彼女の大きな関心事は、この秋開かれる大学祭をサークル仲間と、どう盛り上げるかにあるようだ。そして、昨年はじめて実行委員会の一員として立ち働いた体験に照らして「今年ももっと多くの皆さんに積極的に参加して頂きたいし、また最後まで楽しんでほしい」というのが願いだ。

そこで筆者から学生諸君にお願いを一つ。どうかそんな裏方役に青春をかける彼女の願いに、応えてやっていただきた。

■皆さん大学祭には必ずご参加を!!

（建築学科 2年）
阿部 優美 君

その町からJRで約一時間半ほどの会津若松市にある県立会津工業高等学校に学んだ。

只見川沿い一帯といえは、わが国有数の豪雪地帯である。だから以前、その地を旅行した際に聞いた土地の人の話によると、春の息吹が始まると、心底こころ踊るものを感じるそうだ。筆

「どちらかといえば、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。まあ家業が主に在来工法の住宅を手掛けているので、構造を確りと学んでおけば何とかなる」と思っているんですが、そんな感で駄目ですか？」

と、こちらの目をのぞき込むように訊ねてきたので、

「どなかたといえ、私、設計より構造系の勉強にひかれるんです。

台湾の研究者来学!! 各研究センターや工業技術 博物館等の充実ぶりに感嘆



四月十九日、以前より学術交流のある台湾の国立雲林技術学院より、九名の研究者たちが参観に訪れた。来訪の主たる目的は、しばしば訪台し、交流を行っている機械工学科の村川正夫教授のプレス加工分野に關

する研究施設の見学にあつたが、広く本学の充実した実験実習施設をも参観された。来訪者メンバーは、機械系の主任教授を務める侯春看氏(専門「鉄鋼材料」)をはじめとする助教の方々。専門は、塑性加工、機械設計など多岐にわたつていたが、さすがアジアNIC Sのなかでも高い技術力を有する台湾の機械工学科をほうふつさせるほどに、熱心なものを感ぜさせた。なお同学院は、一九八〇年に高級技術者の育成を目的に開学。現在、機械・電気・電子・環境安全技術系、及び工業管理・企業管理など九学科を有し、学生数約千二百人が学んでいる。

三月二十三日付けをもって、電気工学専攻科(後期)履修の吉田清(熊谷工業→上海工業大学卒)の両名に、博士号の学位が授与された。対象は吉田氏のそれが「コンタクトアーク放電の維持形態と分光測定システムに関する研究」また林氏のそれは「電子顕微鏡用感光度ドラムの欠陥点検出システムに関する研究」である。なお、両氏の博士号取得の披露は、平成七年度入学式終了後、学長ならびに指導教授ら出席のもとに、会議室で催された。

近事片々

埼玉県の東大宮で「生体電界療法」機器(ドクター・トロン)を生業とする企業トップの高橋さん「機械工学科二期生」は、三〇分ほどのインタビューの間に、「夢」という言葉を五回も口にした。つまり高橋さんのこれまでの人生の裏側には、それほど「夢」に向けての直向き(ひたむき)な闘いがあつた。

高橋さんは、東京・浅草生まれ。が、幼児は裕福だった家業が中学生時代に傾き、やむなく故里を離れ、山の手の高級住宅街に片隅みにある「アパート」住まいを余儀なくされた。

「そのため、僕はあまり勉強しませんでしたね。でもトラックの定期便に便乗、無銭旅行しながら全国を見

OBサロン ④



掛け算の夢追い人生

高橋 常久さん

(日本スーパー電子(株)社長)

学び直し、いまは静岡県のへき地で医師をしている平君など、本当にいい人達に恵まれましたね。特に長田先生にはご自宅に招いて頂き、色んな人生訓を講じて頂いた。いま振り返ると、大学の講義もさることながら、それが僕には大きな財産になっています。

高橋さんが卒業後就職したのは運輸部門の東洋車頭(一部上場)。が、「夢がかなえられそうもない」と直感して一年八カ月で退社。次に学校関係に辞典類を売り込む外資系のTBSブリタニカに入社した。「この評価基準は、すべて売上高。ですから強烈な世界

を扱う企業から営業部長のポストのお呼びがかかり、同社では専務を経て弱冠三十四歳で社長に就任した。なにしろ「入社時は七十八名でだった企業を一二〇人規模にした」のである。が、高橋さんの「夢追い人生」は、まだ先があつた。つまり社長にまで登り詰めはしたもの、しよせん雇われ経営者だったからだ。従つて、この会社での十八年ほどの精華も思い切つて払しょく。現在の日本スーパー電子(株)を創立した。いま同社は、社員三十八名、代理店約一〇〇社を擁し、年商およそ十二億をものしている。

そしてこの四月中旬、高橋さんは、従前の賃貸ビルを拠点とした本社の隣りに、約二億円を投じて自前の新社屋を築き上げ、長田教授ご夫妻も招待して披露の宴を開いた。

この先、高橋さんの胸中には、如何なる夢が描かれているのであろうか……。(倫)

学生記者募集

サークル、クラブ活動の リポーター役です

日本工業大学通信の編集部では、学園の活動を、より詳細に皆さんにお伝えすべく、上記の役目を負う学生記者を募集します。むろん報酬はなし。が、学生時代に広報づくりを身につけておけば、情報化時代に即して社会に出てから大いに役立つことは必定です。志望者は、企画室の櫻井まで(Ext209)ご連絡下さい。



ジャーナ・カート

四月一日より「グリーン&グリーン」を標ぼうするキャンパスに名実ともに沿うよう、入。また制服もしやれたデザインのものに変えて、ニューサービスの開始した。業務にタッチするメンバーは、約三十名。それに学生アルバイト十名ほどを加え、整備の度を増すキャンパス美化に、これ務める方針という。

サービスセンターの 新・清掃事業始まる!

四月一日より「グリーン&グリーン」を標ぼうするキャンパスに名実ともに沿うよう、入。また制服もしやれたデザインのものに変えて、ニューサービスの開始した。業務にタッチするメンバーは、約三十名。それに学生アルバイト十名ほどを加え、整備の度を増すキャンパス美化に、これ務める方針という。



この新学期より使用の真新しい建築実習棟の中央側面に、ご覧のような二つの円柱(エンタシス)が据えられた。いうまでもなく、法隆寺のそれは日本建築のルーツ的存在。またギリシャ神殿のそれは、西洋建築の根幹をなす。さて今後、建築学科の学生が、その心をどう生かすか。

学園グラフィティ'95春 法隆寺とギリシャ神殿のエンタシス

学内の「歩行禁煙」が施行されてから、だいぶタバコのポイ捨てが減つたが、それでもまだ、あちこちに吸い殻が目立つ。指摘するまでもないが、本学のキャンパス内の随所には、工友会から寄贈された「グリーン&グリーン」の標識が立っている。ゆえに、吸い殻や空き缶などが投げ捨てられていると、来訪者たちの目には、看板倒れと受け取られよう。

これでは折角の工友会学内の「歩行禁煙」が施行されてから、だいぶタバコのポイ捨てが減つたが、それでもまだ、あちこちに吸い殻が目立つ。指摘するまでもないが、本学のキャンパス内の随所には、工友会から寄贈された「グリーン&グリーン」の標識が立っている。ゆえに、吸い殻や空き缶などが投げ捨てられていると、来訪者たちの目には、看板倒れと受け取られよう。

TOWN & CAMPUS

うものだ。なぜと云つて、清掃の方がたは、四六時中クリーンアップに関わっているわけではないし、外部からの来訪者が、いつくるか定かではないからだ。これに付いては、町内でも同じこと。通学の日帰りの投げ捨て行為は、日工大生の評判を左右するし、のどかな風景を台なしにしてしまう。今後は、文字通り「グリーン&グリーン」を励行したいものだ。

【新任】(四月一日付)
◆川島 信也(教務課)
昭和四十七年七月生まれ。平成七年三月、獨協大学経済学部経済学科卒。



◆飯島 貴子(総務課)
昭和四十六年三月二十七日生まれ。早稲田大学教育学部国語文学科卒。



【異動】
◆渋谷 龍美(教務課主任→学生課長)
◆谷本 善彦(学生課長→学生課参与)
(五月一日付)
◆荒井美千代(総務課→情報工学科事務)

◆黒津 高行助教(建築学)

◆大岸 文夫講師(建築学科) / 出張先「ドイツ」(3/27~11年間) / 目的「演能空間とドイツの演劇空間の比較研究」をテーマとした研修
◆中村 洋一教授(システム工学科) / 出張先「アメリカ」(4/15~4/26) / 目的「MRS春季大会における論文発表及び技術情報調査」
◆村川 正夫教授(機械工学科) / 出張先「アメリカ」(4/22~5/2) / 目的「ICMCTF'95国際会議にて

◆小倉 勝教授(機械工学科) / 出張先「アメリカ」(2/25~3/5) / 目的「SASE国際学会にて研究発表」
◆村川 正夫教授(機械工学科) / 出張先「台湾」(3/20~3/29) / 目的「台湾での研究会「日本における機械方面の金型専門人材の養成及び業界との供給関係のシンポジウム」にて招待講演」
◆伊藤 庸一教授(建築学科) / 出張先「トルコ」(3/24~4/2) / 目的「トルコ民族建築視察旅行引率」
◆渡辺 勝彦教授(建築学科) / 出張先「ネパール」(3/25~4/2) / 目的「ネパール仏教僧院復原計画の研究」

◆三宅 正二郎教授(システム工学科) / 出張先「アメリカ」(4/22~5/2) / 目的「ICMCTF'95国際会議にて研究発表」

編集後記

*今や生涯学習の取り組みや世の流れ。巻頭の木村教授には、今後もそのあるべき姿を連載で開示して頂く。

*「学園グラフィティ」で紹介の建築学科実験実習棟に据えられた法隆寺とギリシャ神殿のそれに倣ったエンタシスは、空間に粋な味を醸し出している。法隆寺といえは、たいへん長きにわたって宮大工として仕えた西岡常一さんが、四月上旬亡くなられた。個人的な話で恐縮だが、雑誌の編集者時代に取材で何度かお目にかかり、いろいろ教えて頂いた。なかでも「木組み」を「ひと組み」に喩えながらの教えが、いまでも胸底に焼き付いている。本紙を編むに当たって、その教えを踏襲して行きたいと念じている。

*さて次号の発行は七月一日。情報工学科や第二食堂も落成をみるので、たいへん盛りだくさんになるう。(S)